

## 第34回けん玉全日本新人王決定戦 第22回全日本けん玉学生・社会人対抗戦 第23回全日本空中技けん玉選手権大会

**主催**：日本学生けん玉連盟、JKA空中技研究学会

**後援**：公益社団法人日本けん玉協会

**日時**：2018年9月16日（日）13時30分受付開始（13時開場）

**場所**：和歌山市河北コミュニティセンター ※和歌山県で史上初開催！

**参加費**：中学生500円、高校生1000円 ※見学無料

学生（短大・専門学校・大学院を含む）2000円、社会人3000円

※出場する大会が1つでも3つでも同じ金額です。

**申込み**：当日申込み

## 第34回けん玉全日本新人王決定戦

ルール  
改定

### 参加資格

- ・中学生以上であること。
- ・大会前日（2018年9月15日）現在、日本けん玉協会認定段位が四段以下であること。
- ・日本けん玉協会主催大会において、以下の成績がないこと。
  - ・全日本選手権、JKA杯、**JKA Jr.**、**全日本少年少女大会**の予選通過経験がないこと。
  - ・**もしかめ選手権**において、**4時間以上の記録がないこと。**
  - ・クラス別選手権Bクラスで優勝、準優勝の経験がないこと。
  - ・**藤原一生杯等の世界大会で優勝、準優勝の経験がないこと**
- ・当連盟主催大会の下記6大会で優勝あるいは準優勝の経験がないこと。  
（新人王決定戦、全日本学生選手権、全日本ユース選手権、学生・社会人対抗戦、全日本フリースタイル選手権、名人戦）

### 試合形式

- ・1次予選  
別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、学生の部（大学生以下）と社会人の部それぞれの部門で成功回数の多い5位タイまでの選手が2次予選へ進出する。
- ・2次予選  
別表1の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の多い3位タイまでの選手が部門別優勝決定戦へ進出する。
- ・部門別優勝決定戦  
2次予選と同様の方式により、学生の部、社会人の部ごとの優勝を決定する。  
しかし、決定しない場合は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。  
**※部門別準優勝決定戦は廃止します。**  
ただし、20本（2回目の第10選技）でも勝者が決まらない場合は、別表4のタイム競技により、優勝者ないし準優勝者を決定する。なお、各部門の優勝者は、全日本新人王優勝決定戦へ進出する。
- ・全日本新人王優勝決定戦  
部門別優勝決定戦と同様の方式により、総合優勝者（全日本新人王）を決定する。  
ただし、こちらに関しても上記サドンデス方法を実施した結果、優勝者が決まらない場合同様に別表4のタイム競技により決定する。

## 第22回全日本けん玉学生・社会人対抗戦

ルール  
改定

### 参加資格

- ・中学生以上であること。

### 試合形式

- ・予選  
別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、学生の部（大学生以下）と社会人の部それぞれの部門で成功回数上位8名までの選手が部門別決勝トーナメントに進出する。  
なお、8位タイが複数名の場合は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。  
どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
- ・部門別決勝トーナメント  
別表1の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表1の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。なお、条件はその試合限り、有効。  
また、部門別優勝者、準優勝者は対抗戦決勝トーナメントへ進出する。  
（各部門2名・合計4名）。
- ・対抗戦決勝トーナメント  
別表2の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表2の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。

## 第23回全日本空中技けん玉選手権大会

ルール  
改定

### 参加資格

- ・中学生以上であること。
- ・大会前日（2018年9月15日）現在、日本けん玉協会認定段位が初段以上であること。

### 試合形式

- ・予選  
別表5選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、成功回数上位8名（同点の場合1回目の成功数が多い方が上位）とし、決勝トーナメントに進出する。  
なお、8位タイが複数名の場合は別表5の第1選技から順番にサドンデスを実施する。  
する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
- ・決勝トーナメント  
6種目3本先取勝ちとする。  
1、2種目は種目提示戦にて実施する。（詳しくは「種目提示戦」を参照）  
3本目以降は別表5より規定種目戦にて実施する。なお、規定種目戦は1種目3回まで。  
3本先取するか、6本終了した時点で先取した本数が多い方を勝者とする。  
2対2ないし6本終了した時点で同点の場合は、1回戦は別表3、準決勝以降は別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表5の第1選技から順番に実施するサドンデスにて勝者を決定する。

## 種目提示戦

- ・お互いに種目（技）を提示し、勝敗を競う。
- ・一方の選手が種目を提示し、提示者、対戦者の順で種目提示を行う。  
なお、試技の条件は最大2回までとなり、勝敗の決定も含め、下記のとおり実施する。
  - ①提示者1回目成功、対戦者1回目成功 【対戦者1本】
  - ②提示者1回目成功、対戦者1回目失敗 【提示者1本】
  - ③提示者1回目失敗、対戦者1回目成功 【対戦者1本】
  - ④どちらも1回目失敗の場合は、2回目を実施。2回目に関しても上記と同様。

### ・提示種目の定義

- ①既存の技でも、新たに考案した技でもよい。
- ②大会中に自身が提示した技は1回限りとする。（他者が提示した技は提示可能）
- ③複数の技（同一含む）を組み合わせることはよい。ただし、最大5つとすること。  
また、宇宙一周のよう1つの技と成立されている連続技は、1つとして数える。  
※空中技に限り、全ての技を空中技で構成すること。  
（空中技とはけん玉が手から完全に離れ、その際に玉にけんがささっていないこと）
- ④提示種目者は1分以内、対戦者は3分以内に試技を終えること。
- ⑤提示種目者は事前に種目名を宣告する。また、対戦者ないし審判がわからない場合は技の説明も行うこと。また、対戦者の同意を得れば、模範演技を可能とする。
- ⑥使用けん玉は1試合1本とする。
- ⑦けん玉の形状を著しく変化させたり、自分のけん玉でしかできない技は不可とする。  
また、けん玉の形態を変える必要がある技（糸をはずす等）は不可とする。
- ⑧公序良俗に反する技は不可とする（技名も含む）。
- ⑨身体的要素を取り入れた技は、主催者もしくは審判団判断で不可とする場合がある。

### ・最優秀提示種目賞

提示種目の中で「独創性」や「高難度」など、秀でた技には最優秀提示種目賞を与える。  
条件としては、提示種目者が成功すること。

ただし、決勝トーナメントに進出できない場合は1種目試技2回の挑戦を可能とする。

※フリースタイル選手権に限り、決勝トーナメント1回戦の後攻者が3-0による負けとなった場合に限り、その選手はもう1種目挑戦することができる。※合計2種目可能。

## 条件付きサドンデス

- ・上記にも記載した通り、全日本けん玉学生・社会人対抗戦及び全日本空中技けん玉選手権大会では、条件付きサドンデスを実施。（タイム競技は廃止となります。）

### ～説明～

- ①別表3の条件を抽選する。
- ②決定した条件で第1選技から順番に実施する。
- ③第10選技終了時、勝者が決定していない場合は再度抽選にて条件を決定する。
- ④以降繰り返して勝者を決定する。

### ～注意点～

2番「片足立ち」については、技の開始から審判の合図があるまで片足であること。

3番「2回連続」については、審判の一回目成功の合図確認後手でおろし、二回目を開始すること。

# 選 技 内 容

別表 1
1 宇宙一周
2 けん先すべり～地球まわし
3 つるしとめけん
4 うらふりけん
5 さかおとし
6 うぐいす～けん
7 一回転飛行機
8 ふりけん～世界一周
9 はねけん
10 一回転灯台

別表 2
1 二回転飛行機
2 つるし一回転飛行機～はねけん
3 うぐいすの谷渡り
4 つるし一回転灯台～とんぼ返り
5 宇宙一周～地球まわし
6 ろうそく返し
7 二回転灯台
8 宇宙遊泳
9 すべり止め極意
10 円月殺法

別表 3 (条件)
1 通常通り
2 片足立ち
3 二回連続

別表 4 (タイム競技)
1 とめけん× 3
2 飛行機× 3
3 ふりけん× 3
4 世界一周× 3

別表 5
1 掛け軸返しとめけん
2 宇宙遊泳
3 うずしお灯台
4 円月殺法
5 つるし一回転飛行機
6 ろうそく返し
7 大皿落としけん ※手のせ大皿可
8 宇宙遊泳返し
9 ろうそくうらふりけん
10 ふりけんつむじ風

タイム競技に関しては、  
 ・ 4 種目を各 3 回ずつ成功させる。技の順序は規定しない。  
 ・ 3 回成功する前に他の種目を行った場合、前の種目によって成功回数を無効 (0 回) とする。  
 ・ タイム競技開始前に、審判し最終種目を伝えること。  
 ・ 審判の「かまえ、はじめ」の合図で協議を開始し、先に終了した選手を勝ちとする。

それぞれの技については「けん玉の技 1 2 3」や過去の日本けん玉協会主催大会による競技ルールを参照すること。

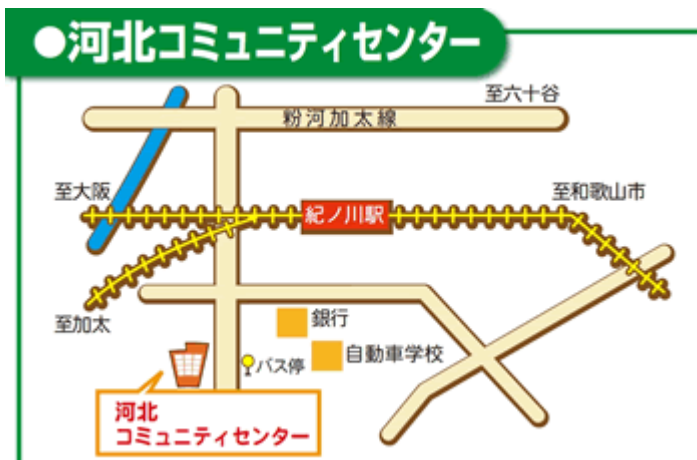
## 使 用 け ん 玉

- ・ 日本けん玉協会認定の競技用けん玉を予選では 1 本、決勝では 1 本とすること。
- ・ けんの長さは 1.5 cm 以上、摩耗 1 cm 以下であること。
- ・ 玉の穴は原形を保持していると認められること。
- ・ 特殊な加工 (切り込み、やすりがけ、着色等) を施していないこと。
- ・ 糸の長さは自由とする。
- ・ その他、主催者の判断により、使用の可否を決定することがある。

## 連 絡 先

- ・ ご不明点等あれば、E-MAIL (gakuren\_kendama@yahoo.co.jp) までご連絡ください。
- ・ また、公式twitterやfacebookも開設しておりますので、「日本学生けん玉連盟」で検索。

## ア ク セ ス



電車でお越しの方

南海電鉄 紀ノ川駅下車 徒歩約3分  
(西へ150メートル、踏切左へ150メートル)

バスでお越しの方

和歌山バス六十谷線 梶取東バス停下車すぐ  
(鳴滝団地経由・川永団地行、  
梶取経由・和歌山市駅行)